



今年をどんな年に？



堀江中
校長室より

ほりえ

誇り
理想
笑顔

1月号

H28

1. 28



発行者
中西利彦

「日常」をどう過ごすか？



昨年は、ラグビーのワールドカップで日本の代表チームが大活躍をしました。そして、その中で、五郎丸選手のルーティンが話題になりました。今年に入って、大相撲初場所で大関琴奨菊の制限時間いっぱい立会い直前の胸をさらす姿もルーティンの一つですね。ルーティンとは「決まり切った仕事、機械的な日常業務、型どおりの手順」という意味があります。毎日決まり切った作業を行うことにより、その行為をスムーズにすることで普段の自分を呼び起こせるというものです。

毎日同じことを繰り返していれば、ちょっとした自分の体調の善し悪しに気づきやすくなる。

いつも決まった状態に持っていくことが重要で、普段の行動が正しければ、また、本気で取り組んでいれば、自分のルーティンを行うことで、日頃のレベルの高い自分を呼び起こすことができるということです。日頃の行動、やるべきことをおろそかにしている、本気を出さなければならぬときに欲しい力を出せません。そのようなことから「日常」を大切にしようと思えます。

普段の生活には、同じことの繰り返しをすることで、晴れやかに楽しい時間を過ごす時があります。とすれば、晴れやかな楽しい時間はかき追いついていないでしょうか？普段の生活、「日常」があるから、



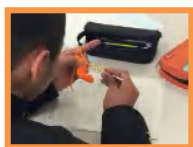
楽しいことや苦しいことを感じられま
す。今年は、「日常」に特に目を配って
みませんか？

また、始業式には、積み重ねが大切であるという話もしました。毎日、プラスアルファをしていくこと。小さな「正の数」も積み重ねれば大きくなります。プラス・マイナスではなく、掛け算をするようになるかという話もしました。「正の数」をかける成長が見込まれます。間違っても「ゼロ」をかけないでください。すべてがゼロになります。



3学期も先生方は研修しています

1学期には、3年生の先生方が授業をよりよくしようということで研究授業と研究協議を行いました。2学期には2年生の先生方が研究授業をしてくださいました。そして、3学期1月21日(木)には、1年生の先生方が、研究授業をし、先生方みなで参観をした授業について話し合いました。参観された先生方は、少しでも分かりやすく工夫をされている授業から何か取り入れられるものはないかと一生懸命でした。



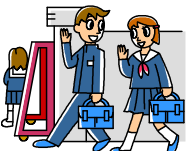
口頭の言動が面接に出ます

3年生の多くは、28日(木)に私立の高校に出願し、いよいよラストスパートです。高校入試は、2月10日(水) 11日(木)祝です。持てる力を出し切れるよう、規則正しい生活を心がけ、風邪などひかないよう注意し、油断せず受験に取り組んでください。試験は朝から始まります。受験勉強も夜型から朝型にして、試験時間に脳の機能が十分発揮できるようにしておきましょう。「家庭でも、食事と睡眠にご留意いただき、十分な体調で受験に臨めますようお願いします」

※公立一般入試の翌日から本校卒業式です。



3年生に校長面接をしました。挨拶が自然にできる人、緊張してできない人。一つ一つの動作をとめることができます。歩きながら礼をするなどの「ながら」の人。入室は、前の人の見よう見まねでうまくできたけれども、退室の時は気が抜けていて、指導を受けざるを得ない人。また、自分の思いや考えを伝えることが苦手な人が多かったと思います。自分の想いを口に出すということを口頭から練習することが大切です。練習の第一歩は声を出しての挨拶です。マフソンの小出監督は「挨拶と言っても、黙礼だけの挨拶では意味がない。ちゃんと顔をあげて声を出すことが大切なんだ」とおっしゃっています。できていると心配をしている人は、先生方の指導を思い出し、日常をもつ一度、振り返ってみてください。



☆私立高校出願のようすも随分と報告！☆



阪神・淡路大震災から27年目

1995（H7）年1月17日午前5時46分、阪神淡路大震災が起りました。死者6434名、重傷者4万3792名、全壊・全焼棟数10万4906棟の被害がありました。建物が崩壊し、その下敷きになったり、あちこちで火災が発生しました。水道管が破裂し、消火用の水が出なかったり、道路が寸断されていて、緊急車両が走れない状況でした。また、地震発生直後に停電になりました。その後、回復し、電気が通じたところがありました。しかし、暖房機器のスイッチを切れなくて避難したり、気付かなかったところから火災が発生しています。しばらくして、日本国内だけでなく、世界中から被災地に、ボランティアの人々が集まってきました。しかし、直後は消防や救急などの公的な救助（公助と言います）は1割程度でした。あとは、互いに助け合い、支え合い（共助と言います）しました。震災後、落つていからは、非常食や水を避難用に常備していました。あれから、21年。今はどうでしょうか。地震に限らず、台風や火災など被災したとき、どのように自分の命を守るのか、家族で話し合っているでしょうか。

「災いは、忘れたころにやってくる」



非常持ち出し品（例） 非常食（カロリー源、満腹感があり軽くて小さいもの）、飲料水、懐中電灯、下着の替え、マッチやライター、予備の電池、救急セット、ちり紙、缶切り、栓抜き、貴重品、雨具、手袋、メガネなど日常生活に欠かせないもの



H27 生徒アンケート（12月）

肯定的意見（%）

1	学校へ行くのが楽しい	81
2	学校行事はみんなが楽しく行えるよう工夫されている	75
3	将来の進路や生き方について考える時間がある。	72
4	命の大切さや社会のルールについて十分に学んでいる。	87.3
5	人権の大切さについて十分に学んでいる。	84.4
6	学校や地域でよく挨拶をしている。	86.3
7	授業で分からないことについて、先生に質問しやすい。	69.6
8	授業は分かりやすい。	77.4
9	通知表の学習成績のつけ方に納得できる。	76.7
10	自分の努力を認めてくれる先生がいる。	79.6
11	先生は、いじめなどに対してすぐに対応してくれる。	78.3
12	相談できる先生がいる。	64
13	学校は、校内美化や環境整備ができている。	64.3
14	保護者や地域の人々と一緒になって学習や作業をすることがある。	48
15	急な事件や事故、自然災害が発生した時、どうしたらよいか分かっている。	76.7
16	『シラバス』の内容を確認して活用している。	35.7
17	家で学校の授業の復習をしている。	53.3
18	習熟度別少人数授業やチームティーチング授業は分かりやすい。	68
19	学校の決まり（規則）を守っている。	91.4
20	人の役に立つ人間になりたいと思う。	90

編集後記

3学期は、学年の仕上げの学期です。次の学年に進級する準備にもなります。この一年、何を学び、何を残せばよいのか？振り返りながら、整理をしてほしいと思います。どれほど成長したのか？大人にどれほど近づいたのか？大人になるということは、どういうことなのか？よく考えてください。中学校は、大人になるための基礎基本を学ぶところです。どんな人生を送るのか？今を大切にしてください。

要注意ノインフルエンザ、ノロウイルス

先日、氷点下3.5度の厳しい寒さの朝がありました。寒くて厳しい冬だ、と、ずっとこのまま、春が来ないのではないかと錯覚してしまっています。今年に入って、インフルエンザにかかっている人が急増しています。そこで適切な対処法を紹介します。

- (1) 手洗い・うがいの励行。マスクの着用。
 - (2) 人混みや繁華街への外出は控えましょう。
 - (3) 室内の乾燥に注意しましょう。
 - (4) 十分な休養を取り、体力や免疫力を高めよう。
 - (5) バランスよく栄養を摂取しましょう。
- また、ノロウイルス感染に対しては、手洗い。せつけん・流水による手洗いが基本です。そして、どちらもかかったかなと思ったら、すぐに医療機関に行ってください。

★ご協力ありがとうございました。

診察してもらってください。



学校評価アンケート速報

12月に行いました学校評価アンケートの集計ができましたので、ご紹介します。なお、保護者の皆さま方には、ご多用のところ、ご協力いただきましてありがとうございました。ルールを守るなどの規範意識は9割を超える肯定的な意見でした。授業や学習についての意見が低い割合を示しています。これらの結果をもとに、教職員の最終反省や学校協議会に提出し、今後の学校の取り組みに活用させていただきます。（左表参照）

